

# エコアクション21



## 環境経営レポート (令和5年度)

第18号

2023年度

発行日 令和6年4月20日

(取り組み期間 令和5年3月～令和6年2月)

# 岩堀電設株式会社



環境省  
エコアクション21  
認証番号0001692

# 目 次

I 環境経営方針	P 1
II 事業の概要	P 2
III エコアクション21実施体制	P 3
IV 環境経営目標と実績 (短期・中期目標)	P 4
(環境経営実績)	P 5
V 主要な環境経営計画の内容	P 6
VI 環境経営の取組結果の評価と 次年度の取組内容	P 7～P 8
VII 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P 9
VIII 代表者による評価と見直し・指示	P 10
【参考資料】	P 11～P 12

# I 環境経営方針

## 基本理念

岩堀電設株式会社は経営理念で“我々は事業を通して社会に奉仕し、絶対信頼関係にある仲間と共に自社の発展に努め、全社員の幸福を追求する”ことを掲げ地域の一員としてお客様から喜びと感動を頂くと共に自然環境の変化にも敏感に反応し、自社の経営効率を高めると共に、地域と地球の環境保全に積極的に取り組みます。

## 行動方針

1. 工事現場に於いてはお客様の要求を満足させる最適な管理技術をもって資源・エネルギーの無駄遣いをなくし、お客様には省エネ電気設備を推奨していく。そして発生した廃棄物は細かに分別し適正に処理する。
2. 事業活動を通して、県条例や地域の環境協定など、環境関連法規を遵守する。
3. 事務所に於いては効率の良い業務管理により資源・エネルギーの削減に努め“もったいない”の心を育てる。
4. この環境経営方針を全社員に提示し一人一人が環境保全・省エネルギーに対する具体的な活動に取り組みます。
5. 環境経営の継続的な改善に取り組みます。
6. ”環境に配慮した事業活動の取り組み”を推進します。

令和 5年 5月 12日改訂-3  
令和 1年 5月 13日改訂-2  
平成22年 11月 1日改訂-1  
平成18年 11月 1日制定

岩堀電設株式会社  
代表取締役 坂口 悦司

## II 事業の概要

(2023)

2019年3月 1日 改定-1

2019年5月13日 改定-2

2023年5月12日 改定-3

### 1. 事業所名及び代表社名

岩堀電設株式会社  
代表取締役 坂口悦司

### 2. 所在地

・本社、倉庫、資機材置場 : 静岡県牧之原市大江1260-4  
・浜岡営業所 : 静岡県御前崎市池新田5685-1

### 3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 : 吉川 雅 利  
推進責任者 : 杉山 岳  
連絡先担当者 : 横山 暢 彦  
TEL 0548-52-0548  
FAX 0548-52-4577  
Eメール [iwahoridensetsu@ka.tnc.ne.jp](mailto:iwahoridensetsu@ka.tnc.ne.jp)

### 4. 事業の内容

(\*はR1年度追加)

- 電気工事業
- 消防施設工事業
- 管工事業
- 機械器具設置工事業
- 建築工事業 \*
- 屋根工事業 \*
- 鋼構造物工事業 \*
- 電気通信工事業
- 土木工事業
- 水道施設工事業
- 解体工事業 \*
- 大工工事業 \*
- タイル・れんが・ブロック工事業 \*
- 内装仕上工事業 \*

### 5. 事業の規模

活動規模	単位	令和 3年 (2021年度)	令和 4年 (2022年度)	令和 5年 (2023年度)
従業員	人	17	17	18
床面積	m <sup>2</sup>	510	510	510

### 6. 事業年度

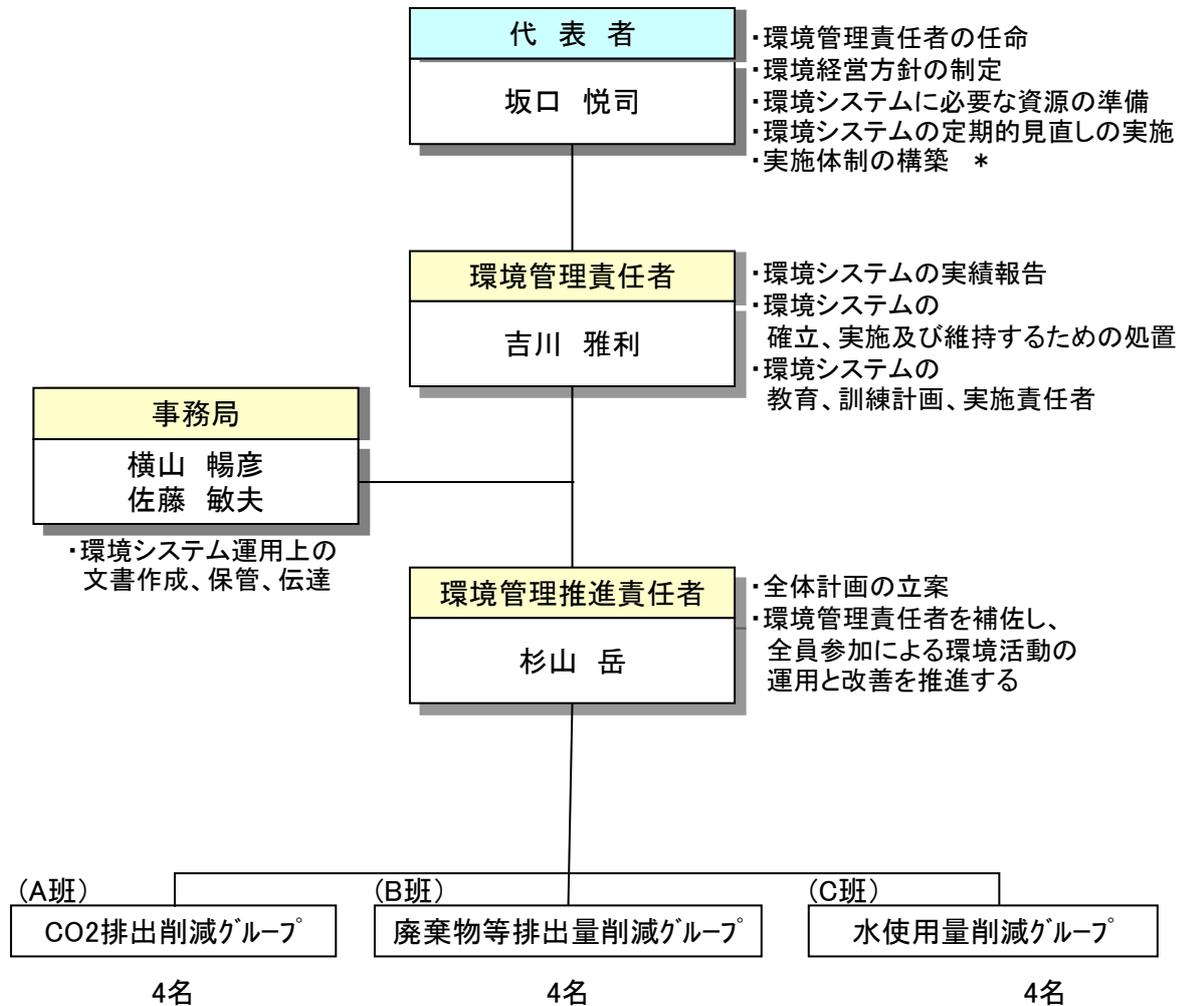
3月1日～2月末日



私達は、いつも環境に配慮した仕事を心掛けております。

### Ⅲ エコアクション21実施体制

(2023)



- 1、各グループの担当者は、自らが組織の中でどのような役割を担っているかを確認し責任者の指示のもとに行動をする。
- 2、各グループにおいて環境目標達成に向けた取組を実施する。
- 3、エコアクション21の対象範囲:岩堀電設株式会社の本社・倉庫・資材置場、浜岡営業所、及び建設現場の 全組織・全活動とする。

令和 5年 5月 12日 改定-8  
\*(代表者の役割追加)

平成18年11月1日 制定  
横山暢彦 作成

## Ⅳ 環境経営目標と実績

(2023)

平成26年4月20日 制定

### (1)令和5年度環境経営目標

(R2年度から見直した)

令和5年5月12日 改定

佐藤敏夫 作成

令和5年度目標から、直近3年間平均の**0.2%減**、又は3年間平均値維持で取り組む。

取り組み項目		単位	R2~R4年度 平均値	令和4年度実績	令和5年度(2023年度) 目標		
二酸化炭素排出量	内訳	総量	kg-CO <sub>2</sub>	59,668.0	57,074.1	59,548	(0.2%減)
	化石燃料	ガソリン	L	16,276	15,992	16,243	(0.2%減)
		軽油	L	3,730	3,025	3,723	(0.2%減)
		計	L	20,007	19,017	19,966	(0.2%減)
		購入電力	kWh	25,864	25,685	25,812	(0.2%減)
廃棄物排出量 (再資源化量を除く)	一般廃棄物	t	3.41	3.03	3.41	平均値維持	
	産業廃棄物	t	8.65	7.21	8.65	平均値維持	
	計	t	12.06	10.24	12.06	平均値維持	
	リサイクル率	%	51.5	61.8%	-	50%以上	
水使用量	水使用量	m <sup>3</sup>	153	111	153	平均値維持	
化学物質を適正に処理する	・PCB含有製品が含まれていないか確認する ・廃蛍光管・水銀灯は適切な処理業者に依頼する			適正	適正		
環境配慮型製品の提案	環境配慮型 対象製品(部品)	1工事当り の採用件数	7件	5件以上/年	5件以上/年		

	(R2年度)	(R3年度)	(R4年度)	
<b>実績値</b>	2020年度	2021年度	2022年度	3年間の平均
kg-CO <sub>2</sub>	63,768.0	58,163.0	57,074.1	59,668.0

### (2)環境経営目標 【中期】

令和5年度から令和7年度の3年間の中期目標に対して、活動に取り組んでいます。

項目	単位	R2~R4年度 平均値	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	前年度比
			前年度比 0.2%減	前年度比 0.2%減	前年度比 0.2%減	
二酸化炭素排出量	※年間排出量(Kg-CO <sub>2</sub> /年)	59,668.0	59,548	59,429	59,310	0.2%減
	売上高あたり(Kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	173.9	*	*	*	-
廃棄物排出量 (再資源化量を除く)	年間総排出量(t/年)	12.06	12.06	12.06	12.06	平均値維持
	売上高あたり(t/年・百万円)	0.0349	*	*	*	-
水使用量	年間水使用量(m <sup>3</sup> /年)	153	153	153	153	平均値維持
	売上高あたり(m <sup>3</sup> /年・百万)	0.437	*	*	*	-
化学物質を 適正に処理する	・PCB含有製品が含まれていないか確認する ・廃蛍光管・水銀灯は適切な処理業者に依頼する		適正	適正	適正	適正
環境配慮型製品の 提案	1工事当りの採用件数	5件以上/年	5件以上/年	5件以上/年	5件以上/年	5件以上/年

※ ①中電のCO<sub>2</sub>係数(0.377)は、R5年度からの実績に使う。(中電R4年12月公表の係数)

②売上高あたり単位は、参考値とする。(目標欄は\*)(数値は実績)

### (3)環境経営実績

(2023)

過去3年間の実績は以下の通りである。

取り組み項目		単位	令和 2年 (2020年)	令和 3年 (2021年)	令和 4年 (2022年)	令和 5年 (2023年)	
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO <sub>2</sub>	63,768.0	58,163.0	57,074.1	56,565.3	
	内訳 化石燃料	ガソリン	L	17,503	15,335	15,992	17,184
		軽油	L	4,252	3,914	3,025	2,920
		計	L	21,755	19,249	19,017	20,104
	購入電力	kWh	25,829	26,078	25,685	24,191	
廃棄物排出量 (再資源化量を除く)	一般廃棄物	t	3.51	3.71	3.03	3.92	
	産業廃棄物	t	9.69	9.06	7.21	5.32	
	計	t	13.20	12.77	10.24	9.24	
	2※(参考)リサイクル率	%	43.4	53.8	61.8	62.6	
水使用量	水使用量	m <sup>3</sup>	185	162	111	128	
※ 化学物質を適正処理する	・PCB含有製品が含まれていないか確認する ・廃蛍光管・水銀灯は適切な処理業者に依頼する			適正	適正	適正	
環境配慮型製品の提案	環境配慮型 対象製品(部品)	採用件数	6件/年	7件/年	7件/年	7件/年	

当社における環境負荷現状として、二酸化炭素排出量、廃棄物等総排出量、水使用量の過去3年間にわたる実績は以下の通りである。

項目	単位	令和 2年度 (R2.3~R3.2)	令和 3年度 (R3.3~R4.2)	令和 4年度 (R4.3~R5.2)	令和 5年度 (R5.3~R6.2)	
二酸化炭素排出量	総量(Kg-CO <sub>2</sub> /年)	63,768.0	58,163.0	57,074.1	56,565.3	
	売上高あたり(Kg-CO <sub>2</sub> /年・百万円)	157.4	174.1	190.2	180.7	
廃棄物排出量 (再資源化量を除く)	総量(t/年)	13.20	12.77	10.24	9.24	
	売上高あたり(t/年・百万)	0.0325	0.0382	0.0341	0.0295	
水使用量	総量(m <sup>3</sup> /年)	185	162	111	128	
	売上高あたり(m <sup>3</sup> /年・百万円)	0.456	0.485	0.370	0.408	
1※化学物質を適正処理する	・PCB含有製品が含まれていないか確認する ・廃蛍光管・水銀灯は適切な処理業者に依頼する		適正	適正	適正	適正
環境配慮型製品の提案	採用件数	6件/年	7件/年	7件/年	7件/年	

- ① 水使用量は、社内上水道使用量を総排水量とする。
- ② 令和2年度から、目標を、直近3年間平均の0.2%削減、及び3年間平均値維持に取り組んでおります。(3年間)  
1※令和1年度から、化学物質を適正処理するため項目に変更した。
- ③ 売上高あたり単位は、参考値とする。  
2※令和3年度から、廃棄物のリサイクル率も参考値として見ていく。

令和 3年6月11日 改定-2  
 令和 1年5月23日 改定-1  
 令和 6年3月26日 作成日  
 佐藤敏夫 作成者

## V 主要な環境経営計画の内容(2023年度)

(2023)

取組項目		責任部署	活動内容
二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減	CO2排出削減グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの温度管理を徹底する(表示内容の再徹底)</li> <li>・パソコン、照明など不要時電源OFFの徹底をする(離席時の確認)</li> <li>*・太陽光発電設備の機器管理を維持する(売電との差を見ていく)</li> <li>・照明器具、ACフィルターの清掃をする</li> </ul>
	化石燃料使用量削減	CO2排出削減グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ意識の再教育をする(表示内容の再徹底)</li> <li>・アイドリングストップ・燃料消費管理による効率運転を推奨する</li> <li>・車輛整備確認、積載荷物の軽量化を行う</li> </ul>
廃棄物排出量削減		廃棄物削減グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別処理を徹底する(事業系ごみの分別)</li> <li>・分別を継続し、産業廃棄物を削減する(リサイクル率を向上する)</li> <li>※2・銅線は、被覆(ヒフク)を分別してリサイクル率を上げる。</li> </ul>
水使用量削減		水使用量削減グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗車、洗い物時は少ない水量で洗えるように工夫をする</li> <li>・雨水タンクの再利用を徹底する。(土木工具の洗浄、花の散水)</li> </ul>
※1 化学物質を適正処理		従業員全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCB含有製品が含まれていないか確認する。</li> <li>・廃蛍光管・水銀灯は、適切に水銀含有物の処理に対応した業者に処理依頼する。</li> </ul>
環境配慮型製品の提案		従業員全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様へ、環境配慮型製品を提案して施行するよう努める。(LED照明器具、エコ電線など)</li> <li>・お客様に対する提案件数を 5件以上/年を目標にする。</li> </ul>

\*は、平成27年度からの活動計画

※2は令和2年度の目標項目に変更

### ◎環境経営システムに関わる項目

- ・現場での苦情は現場代理人が集約し、環境管理責任者へ報告する
- ・法改正時には説明会に参加し、自社における対策を立てる。
- ・取引業者(外注、問屋等)にもシステムを浸透させていく。

※2 令和 2年6月15日 改定  
 ※1 令和 1年5月23日 改定  
 平成30年6月12日 作成

横山暢彦 作成者

## VI 環境経営の取組結果の評価

### (1)取組結果

(2023)

5年度から、直近3年間平均の0.2%減または、3年間平均値維持を目標とする

取り組み項目		単位	令和5年度目標 (2023.3~2024..2)	令和5年度実績 (2023.3~2024..2)	(R5年度) 評価	
二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	59,548	56,565	○	
	内訳	化石燃料				
		ガソリン	L	16,243	17,184	×
		軽油	L	3,723	2,920	○
	計	L	19,966	20,104	△	
	購入電力	kwh	25,812	24,191	○	
	売上高あたり	Kg-CO2/年・百万円	*	180.7	-	
廃棄物排出量 (再資源化量を除く)	一般廃棄物	t	3.41	3.92	×	
	産業廃棄物	t	8.65	5.32	○	
	計	t	12.06	9.24	○	
	売上高あたり	Kg/年・百万円	*	0.0295	-	
水使用量削減	水使用量	m <sup>3</sup>	153	128	○	
	売上高あたり	m <sup>3</sup> /年・百万円	*	0.408	-	
化学物質を適正処理する	・PCB含有製品が含まれていないか確認する。 ・廃蛍光管・水銀灯は、適切に処理出来る業者に処理依頼する。		—	適正	○	
環境配慮型製品の提案	—	1工事当りの採用件数	5件/年	7件/年	○	
太陽光発電量	(売電)	Kwh	—	25,306	—	

目標値は、二酸化炭素排出量削減項目は年0.2%削減、その他は平均値を維持する。

○実行できた △ 少し出来た × 努力が必要

売上高あたり単位は、参考値とする。

令和6年3月26日 評価

### (2)評価

- ・ 二酸化炭素排出の総量について、ガソリンは目標未達ですが、電気使用量は目標に対し下がった。売上高当たりでも前年比で下がっている。昨年比実績排出量でも下がった。
- ・ 太陽光発電設備の設置による売電の変化も見えていきます。(令和5年度は、売電が、1,115KW/h 増えた)
- ・ 廃棄物削減は、一般廃棄物は、社内の草木剪定、草除去等の廃棄が増えた。産業廃棄物は前年よりも、大型廃棄物が少なかったため目標以下でした。  
分別を徹底し、リサイクル率(再資源化)の維持をしていくため、継続して取り組む。
- ・ 水使用量は、雨水タンクの活用を積極的に進めて、水道の節水を継続して行く。
- ・ 前年に引き続き、社内でのコピー用紙は裏紙使用に努めた。(継続)
- ・ 化学物質は定量管理はしないが、適正処理に努めた。(安定器のPCB含有調査の継続)

(3)結果・評価・次年度の取組内容

取組内容 (2023年度)	責任部署	2023年度の評価	半期	全期	2024年度取組内容
①二酸化炭素排出量の削減	CO2排出削減グループ	・電力使用量は、目標に対して達成したが、化石燃料は未達でした。 ・CO2は、目標に対して下がっています。	○	○	継続する
1)パソコン、照明など不要時OFFの徹底	CO2排出削減グループ	日中は照明を出来るだけ消灯し、不要時電源OFFは出来ている。	○	○	継続する
2)エアコンの温度管理の徹底	CO2排出削減グループ	エアコンの温度管理は、冬場の着る物を増やしたり、事務所のカーテンをこまめに利用して室内温度管理の徹底をした。	○	○	継続する
3)照明器具、エアコンフィルターの清掃	CO2排出削減グループ	エアコンフィルターは、サインが出る前に清掃している。	○	○	継続する
4)太陽光発電設備の維持管理	CO2排出削減グループ	毎月1回定期的に運転状況を確認する	○	○	H29年度から数値化する
5)無駄なアイドリングストップ、エコドライブ(急加速、急発進)の周知	CO2排出削減グループ	アイドリングストップ、エコドライブ(急加速、急発進をなくす)の指導を朝礼等でしている。再徹底していく。	△	△	継続する
6)車両整備及び、積載荷物の軽量化。	CO2排出削減グループ	・車両整備の徹底と、全車両の積載量の必要最低限を守る。	△	△	車両の積載量を減らす。
		・また、車両ごとの燃費管理をして、燃料の効率化運転に意識付けていく。	○	○	燃費管理は継続する
②廃棄物排出量削減	廃棄物削減グループ	・廃棄物排出量は、工事内容により大きく増減するので再度徹底していく。	△	△	継続する
1)ゴミの分別処理の徹底	廃棄物削減グループ	・廃棄物は、金属、プラスチック類、可燃物等の分別はしっかり出来ている。 ・銅線は、被覆を分別してリサイクル率を上げる。	○	○	継続する ※令和2年度追加項目
2)コピー紙の裏紙使用の徹底	廃棄物削減グループ	社外的なコピーを除き、社内では裏紙の再利用が出来ている。	○	○	継続する
3)努めて現場廃棄物の持込をなくす	廃棄物削減グループ	現場で、リサイクルBOXがある場合は、許可をもらって、そちらを利用する。	△	△	継続する
③水使用量の削減	水使用量削減グループ	雨水利用タンクの活用を広げる。(植物の散水、土木道具の洗浄)	○	○	活用していく。
1)洗車、洗い物時は水を出しっぱなしにしない	水使用量削減グループ	なるべくまとめ洗いをするよう意識づけしている。	○	○	継続する
2)こまめな蛇口の開閉	水使用量削減グループ	徹底できている。	○	○	継続する
3)少ない水量で洗い物が出来るよう工夫する	水使用量削減グループ	洗濯物などはまとめて洗い、道具類は、雨水利用タンクの活用を徹底する。	○	○	継続する
④化学物質を適正処理する	従業員全員	・PCB含有製品が含まれていないか確認する。 ・廃蛍光管・水銀灯は、適切に水銀含有物の処理に対応した業者に処理依頼する。	○	○	継続する
⑤環境配慮型製品の提案	従業員全員	1工事当りの採用件数 提案件数/5件以上 (エコ電線、LED照明器具等の推奨など)	○	○	H29年度から、受注金額に関わらず、情報の提案推進する(5件以上)

○実行できた △ 少し出来た × 努力が必要

※ 令和 2年6月15日 改定  
令和 6年3月 26日 評価  
佐藤敏夫 評価者

## Ⅶ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(2023)

令和 5年5月12日 改定5  
 平成28年3月30日 改定4  
 平成18年11月1日 制定  
 横山暢彦 作成

### (1) 適用される主な環境関連法規

法規名	遵守すべき項目	遵守確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	3条 事業者の責務 12条 産業廃棄物の事業者の処理 12条の3 産業廃棄物管理票 12条の3 6項 産業廃棄物管理票交付状況の報告	有
産業廃棄物の適正な処理に関する条例	3,4,5条 事業者の責務 6条 搬入の事前協議 10条 現地確認 ※2 15,16条 処理状況の報告及公表	有
牧之原市産廃物の処理及び清掃に関する条例	4条 事業者の責務 10条 産業廃棄物の処理	有
* フロン排出抑制法 ※4	・第一種特定製品管理者の取組べき措置(第16条) (簡易点検・定期点検) ・第一種特定製品廃棄等実施者及び第一種フロン類回収業者のフロン類の引渡義務(第19条、20条、第21条) ・フロン類の放出の禁止(第38条)	有
* 浄化槽法	1. 浄化槽の設置・変更の届出 2. 保守点検の実施 3. 浄化槽法定検査(第11条検査) 年1回 ※5	有
* 廃棄物処理法 (廃消火器の回収に関わる広域認定)	※3 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第15条の4の3) (産業廃棄物の広域的処理に係る特例)	有
家電リサイクル法	家電製品の適正廃棄 ※1	有
建設リサイクル法	分別解体と再資源化	有

\* は、平成23年度から追加された。(改3)

- ※1 家電リサイクル 21年4月1日より、液晶・プラズマ・衣類乾燥機が追加。(改1)
- ※2 委託に係る運搬又は処分が行われる施設の状況を実地で確認する。
- ※3 廃消火器リサイクルシステムの運用開始 平成22年1月1日より。(改2)
- ※4 フロン回収・破壊法がフロン排出抑制法に改正された 平成28年3月30日 (改4)
- ※5 浄化槽法定検査(第11条検査) 年1回 を追加 (改5)

### (2) 違反、訴訟等

騒音、振動、廃棄物の処理等について、近隣、地域又関係機関等からの違反、訴訟等に対する問題の指摘、苦情は過去3年間ありませんでした。

令和6年 3月 28 日 確認  
 吉川雅利 確認者

## VIII 代表者による評価と見直し・指示

## 【全体評価】

8t

## 1、二酸化炭素排出量削減

削減目標の重点活動として継続して来ましたが、ガソリンの化石燃料の使用量は2023年度目標は未達でした。電力使用量及び、CO<sub>2</sub>は達成できました。

2023年度は、小型トラック(パワーゲート)を新車に入れ替えて、燃費改善を図った。

〔反省点〕

電力の使用量は達成できたが、化石燃料の目標は長距離移動が多かったため未達でした。太陽光発電の売電との効果を継続して見ていきます。

2023年度の売電は25,306kw/hでした。

(買電－売電＝24,191kWh－25,306kWh＝－1,115kWh)

一般廃棄物が増えたのは、社内の草木、枝剪定の焼却、(再生)が集中したためです。

## 2、その他

地域貢献活動では、昨年に継続して、小中高生の通学路でもある会社前の道路の草刈作業を夏場に実施しています。ボランティア活動も、牧之原市社会福祉協議会の「らしく作業所」(障害者施設)に屑電線を提供して、入所者の就労支援を続けています。全従業員が「環境経営を意識した行動」を継続していきます。

## ※【見直し・指示】

見直し・指示事項		
見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項
1 環境経営方針	① 無	・2023年度から項目を追加した
2 環境経営目標	① 無	・2023年度から3年間の目標を設定した
3 環境経営計画・取り組み状況	有 ② 無	・継続していく
4 実施体制	有 ② 無	・継続していく
5 その他のシステム要素	① 無	・2023年度から環境関連法規を追加した
6 その他(環境コミュニケーション)	有 ② 無	・継続していく

令和6年 3 月 1 日 ※表示変更

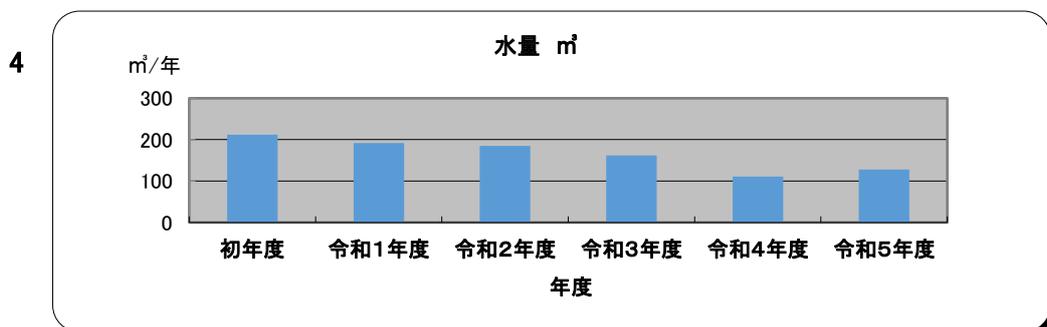
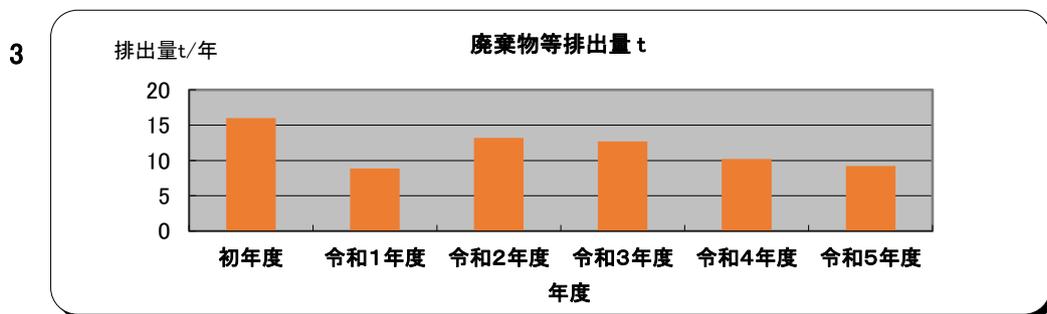
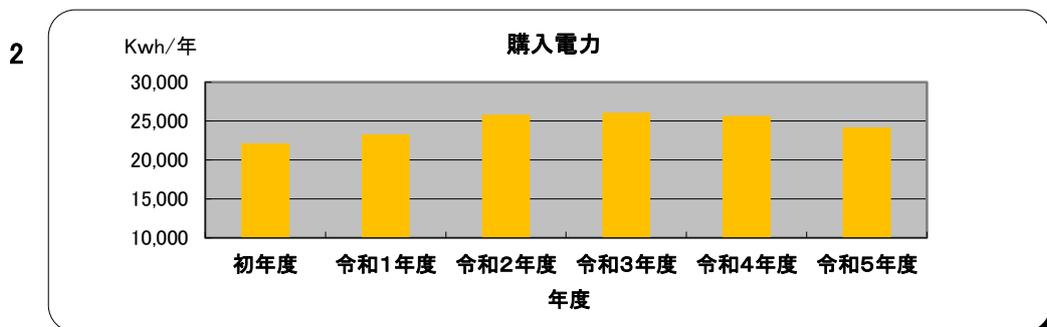
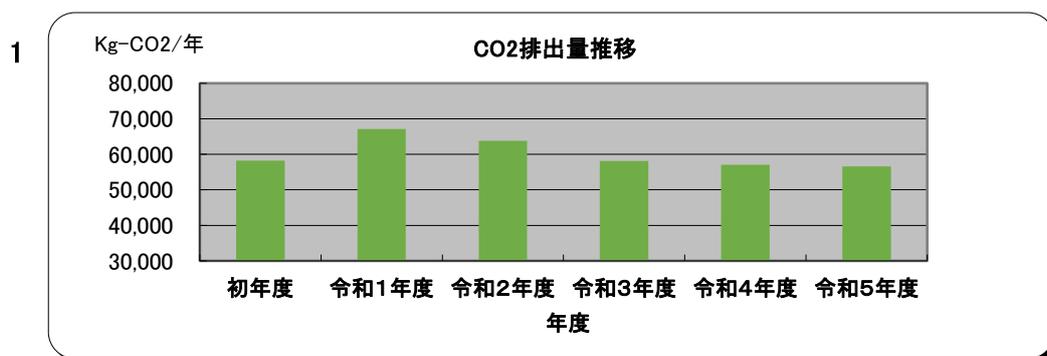
令和6年 3 月 28 日  
岩堀電設株式会社  
代表取締役 坂口悦司

EA21 項目別推移 (R 1年度～R 5年度)

令和 6年3月

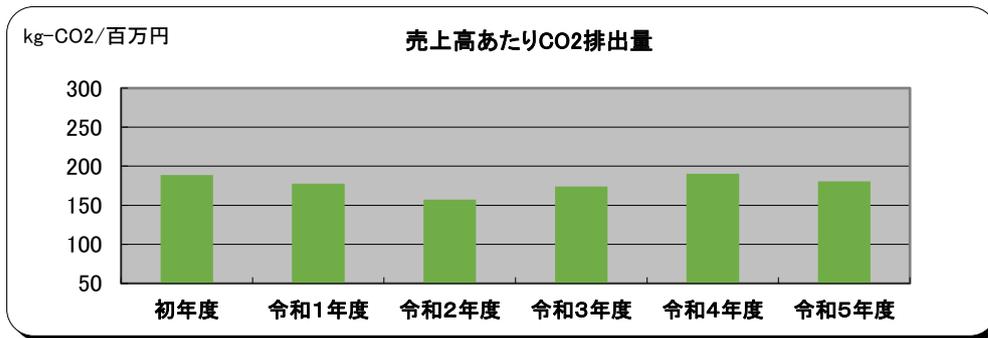
No.	項目	単位	初年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub> /年	58,183	67,122	63,768	58,163	57,074	56,565
2	購入電力	kWh	22,131	23,292	25,829	26,078	25,685	24,191
3	廃棄物等排出量	t/年	16	8.83	13.2	12.7	10.2	9.2
4	水使用量	m <sup>3</sup>	212	192	185	162	111	128
5-1	売上高あたり	Kg-CO <sub>2</sub> /年	188.9	177.5	157.4	174.1	190.2	180.7
5-2	売上高あたり	廃棄物 t/年	0.0519	0.023	0.032	0.038	0.034	0.029
5-3	売上高あたり	水使用量 m <sup>3</sup> /4	0.69	0.507	0.456	0.485	0.370	0.408
6	太陽光発電量	kWh	-	26,064	25,246	26,218	25,613	25,306

※令和1年度からガイドライン2017年度版のチェックシートによる。

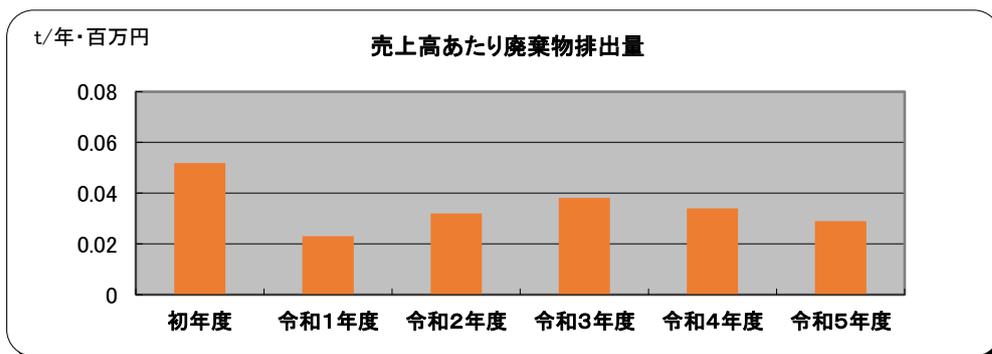


## 売上高あたり項目別推移

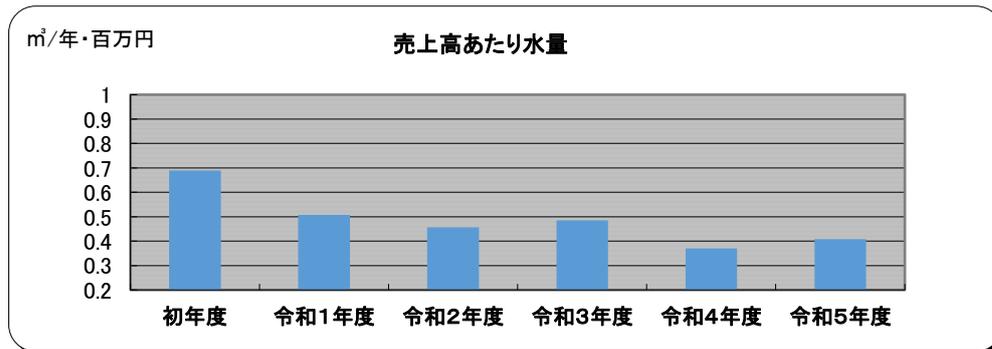
5-1



5-2



5-3



6

